

公益社団法人 日本都市計画学会

関西支部 2024年度総会

議案書

2024年4月13日

公益社団法人 日本都市計画学会



## 議 事

### 1. 開会の辞

### 2. 支部長挨拶

### 3. 議案

(1) 第1号議案 2023年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動報告について

報告事項1 2023年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部決算について

(2) 第2号議案 2024年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動方針について

報告事項2 2024年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部予算について

(3) 第3号議案 2024年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員選出について

### 4. 閉会の辞

## 目 次

### 【第1号議案資料】2023年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動報告について

- 1) 幹事会経過報告について
- 2) 都市計画講演会ならびにシンポジウムの開催について
- 3) 都市計画フィールドワークならびにワークショップの開催について
- 4) 会計および会員管理について
- 5) 広報について
- 6) 都市計画研究会活動支援について
- 7) 国際・交流活動について
- 8) 関西まちづくり賞について
- 9) 研究発表会の開催について
- 10) 新Webサイト等の活用による情報発信について

### 【報告事項1】2023年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部決算について（後日掲載）

### 【第2号議案資料】2024年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動方針について

- 1) 主な事業の日程概要について
- 2) 新たな計画課題にむけて多世代・多分野の協働と人材育成につながる支部活動について
- 3) 都市計画講演会及びシンポジウム・都市計画フィールドワークの開催
- 4) 広報について
- 5) 都市計画研究会活動支援について
- 6) 国際・交流活動の推進
- 7) 関西まちづくり賞について
- 8) 研究発表会について

### 【報告事項2】2024年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部予算について

### 【第3号議案資料】2024年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員選出について

- 【資料 1】 公益社団法人日本都市計画学会関西支部規程
- 【資料 2】 公益社団法人日本都市計画学会関西支部運営規則
- 【資料 3】 関西支部会員数
- 【資料 4】 関西支部予算（予算枠）の推移
- 【資料 5】 研究支援「都市計画研究会」の募集 応募要領（2024 年度）
- 【資料 6】 関西まちづくり賞表彰実績
- 【資料 7】 「第 22 回関西支部研究発表会」開催案内および発表の募集
- 【資料 8】 関西支部役員および委員（2023 年 12 月 15 日現在）

【第1号議案資料】

2023年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動報告について

1) 幹事会経過報告について

開催日時		主な議事及び決定事項
第1回 2023. 5. 15	1. 2. 3. 4. 5. 6.	研究支援（都市計画研究会）の決定 委員名簿の確認 新メーリングリスト等の報告 関西まちづくり賞のスケジュール・募集要綱の決定 企画委員会、国際・交流委員会からからの活動計画の報告 研究発表会の方針の決定
第2回 2023. 7. 19	1. 2. 3. 4. 5.	支部長より本部理事会の報告 委員名簿の確定、顧問の任期の決定 ZOOM ウェビナーの契約の方針の決定 企画委員会、編集・広報委員会、国際・交流委員会からの活動報告と今後の予定の確認 関西支部研究発表会の開催内容の確認
第3回 2023. 10. 26	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	支部長より本部理事会の報告 2024年度事業計画、予算の作業スケジュール周知等 諸謝金の取り扱い対応の確認と謝金に関する規定変更の決定 大阪府建築審査会の委員推薦の依頼 企画委員会、国際・交流委員会からの活動報告と今後の予定の確認 関西まちづくり賞への応募状況の確認 関西支部研究発表会の開催結果報告
第4回 2023. 12. 15	1. 2. 3. 4. 5.	2023年度事業計画、予算の確認・決定 2024年度総会の開催方法の方針決定 大阪府建築審査会の委員推薦の依頼 国際・交流委員会からの活動報告と今後の予定の確認 2024年度関西支部研究発表会の開催日の決定
第5回 2024. 1. 26	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	支部長より本部理事会の報告 2024年度予算・事業計画の状況 2023年度予算執行状況、決算スケジュールの確認 2024年度総会の開催の調整状況報告 委員会委員の調整依頼 企画委員会からの活動報告と今後の予定の確認 関西まちづくり賞の表彰対象の決定 関西支部研究発表会の方針の確認
第6回 2024. 3. 4	1. 2. 3. 4. 5. 6.	2023年度決算及び2024年度予算の状況報告 2024年度委員および委員公募についての調整 2024年度総会の開催の調整状況報告と議案書の確認 関西支部研究発表会の方針決定 活動支援する都市計画研究会の公募の方針決定 2024年度役員選出の調整

参考：【資料1・2】

## 2) 都市計画講演会ならびにシンポジウムの開催

### <講演会>

テ ー マ : 分譲住宅の明るい未来への選択肢を創る仕事について

～高経年マンションの建替・団地再生の事例を通して～

日 時 : 2024年2月14日(水) 19:00～20:30

場 所 : オンライン開催(株式会社地域計画建築研究所大阪事務所から配信)

内 容 : 全国的に高経年マンションが増加し、建替え等の合意形成が困難になる中、維持管理の適正化や再生に向けた取組の強化が喫緊の課題となっている。区分所有法、マンション管理適正化法、マンション建替え円滑化法の改正等により分譲集合住宅を取り巻く社会環境は大きく変化している中、分譲集合住宅の再生に関する仕事に就いて約30年の講師を招聘し、分譲集合住宅の明るい未来への選択肢について考えるための講演会を開催した。

講 師 : 根津昌彦(合資会社ゼンクリエイト 代表社員)

参 加 者 : 106人

### <シンポジウム>

テ ー マ : 空き家を”使いつくす”社会づくり

—空き家の活用をもっと身近に、幅広く—

日 時 : 2023年11月19日(日) 14:00～16:45

場 所 : オンライン開催(株式会社地域計画建築研究所大阪事務所から配信)

内 容 : 年々空き家が増加する中、地域の活性化に空き家を活用する取組が数多く展開されている。しかし、増加数に対応するにはもっと数多くの空き家を活用・除却する仕組みづくりが必要である。空き家所有者への相談体制、まちづくりに空き家を活用するエリアマネジメント、事業主体への経営・資金調達の支援、空き家の改修、行政の支援等、様々な視点・取組事例から、空き家の活用・除却をもっと身近に、幅広く行う「空き家を使いつくす」社会の仕組み・環境づくりを考えるシンポジウムを開催した。

話題提供 : 「もっとつなぎやすく！空き家バンクの登録・活用促進」

安枝英俊氏(兵庫県立大学環境人間学部教授)

「もっと手厚く！空き家の活用を促す支援」

中尾元氏(兵庫県まちづくり部住宅政策課)

「もっと魅力的なまちに！空き家でエリアマネジメント」

畑本康介氏(株式会社緑葉社代表取締役)

「もっとはじめやすく！エリアマネジメントの事業化」

廣瀬哲也氏(一般財団法人民間都市開発推進機構)

「もっと身近に空き家改修を！古いものの価値向上」

才本謙二氏（才本建築事務所主宰）

パネリスト：コーディネーター：佐伯亮太氏（合同会社 Roof 共同代表）

パネリスト：安枝英俊氏、中尾元氏、畑本康介氏、廣瀬哲也氏、才本謙二氏

参加者：95人

### 3) 都市計画フィールドワークならびにワークショップの開催

#### <フィールドワーク①>

テーマ：自然と共生する農ある都市をめざす食都神戸

日時：2023年8月5日（土）9：00～12：00

場所：ファーマーズマーケット、北野エディブルヤード、平野コープ農園（神戸市）

内容：神戸市は山と海に囲まれ、質の高い農水産物が生産されているポテンシャルを活用し、食でにぎわい食で人々が集うまちづくりを推進している。例えば、生産者と消費者をつなげるマルシェ等の開催や、消費者が自ら耕し農に対する理解を得るなどのアーバンファーマリング事業が行われている。この都市戦略「食都神戸」について、神戸市から説明いただくとともに、戦略のもと実施運営されているファーマーズマーケットやエディブルパークの視察を行った。

講演：「食都神戸」事業の説明

長坂千枝氏（神戸市経済観光局農林水産課）

案内：小泉寛明氏（有限会社 Lusie）

参加者：24名

#### <フィールドワーク②>

テーマ：『シェアハウス』共同住居による暮らしの価値創造の可能性

～新長田の事例から探る暮らし方の新たな選択肢～

日時：2023年9月9日（土）13：30～16：00

場所：International Sharehouse Marche、はっぴーの家ろっけん（神戸市長田区）

内容：従来の家族単位の住まいに代えて新しい形として注目される「シェアハウス」。友人同士、見知らぬ者同士が「共有」と「交流」に価値を見出し、従来の暮らし方を飛び出し新たな暮らし方を選択する事例が増えてきている。神戸市新長田を拠点に、共同居住によって高齢化に伴う不安の解消、人生の新たなきっかけづくりなど様々な社会課題の解決に挑戦する事業を営む2事例のお話を伺い、「シェアハウス」の可能性を参加者のみなさんと検討するフィールドワークを開催した。

案内：玉井智洋氏（株式会社マチアケ代表取締役）

首藤義敬氏（株式会社HAPPY代表）



参加者：14名

### <ワークショップ>

テーマ：過疎地域での新たな豊かな暮らし

ー養父市旧グンゼ養父工場跡地地域活性化ワークショップー

日時：1日目：2023年7月23日（日）9：00～17：00

2日目：2023年8月27日（日）14：00～17：00

場所：1日目：養父市役所養父地域局、旧グンゼ養父工場跡地及びその周辺

2日目：兵庫県民会館（兵庫県神戸市中央区下山手通4丁目16-3）

内容：兵庫県の北部にある養父市では、地方の大きな課題である過疎化や少子高齢化による人口減少に歯止めがかかっておらず、若年層の移住・定住を促す取組がなされている。一方で、養蚕と製糸が盛んであったことから、市内の各地に養蚕農家の集落景観、製糸場などが地域の資源、産業遺産として現存している。また、養父市内にはグンゼの八鹿工場と養父工場があったが、いずれも廃止され、八鹿工場跡地は「やぶ市民広場YBファブ」として生まれ変わった。養父市内のまちを歩き、地域の歴史・文化に触れるとともに、旧グンゼ養父工場跡地を活用し、過疎地域における豊かな生活、多様な暮らし方、働き方の実現による地域の活性化方策を考える学生対象ワークショップを開催した。

参加者：21人（全て学生）

## 4) 会計および会員管理について

2024年度の予算案の作成、ならびに2023年度の決算書の作成を行った。

## 5) 広報について

### 1. 支部だよりの発行

関西支部だより＋（ウェブ版）No.37をWEB発行した。特集のテーマは「都市経営とまちづくり」「公民連携まちづくり最前線」とし、インタビュー記事の公開や、論考の執筆依頼を行った。

□特集

「【続編】ふるさと納税など法定外税を活用した地方創生（泉佐野市）」

：阪上博則／泉佐野市政策監（ふるさと納税エバンジェリスト）

「六原まちづくり委員会による地域活動と組織づくり（京都市六原）」

：菅谷幸弘／六原まちづくり委員会委員長）、小林悟／六原まちづくり委員会・（株）スマート・ホーム

「民間寄付による駅前インフラ整備・維持管理の新たなスキーム（尼崎市出屋敷）」

： 柏木洸一（尼崎市都市整備局・（一社）オリコム代表理事）、杉原竜太（尼崎市総合政策局・（一社）オリコム理事）、白崎友朗（尼崎市都市整備局・（一社）オリコム理事）  
「民間発意、公民連携の公共空間整備・運営（神戸市東遊園地）」  
： 村上豪英／株式会社村上工務店代表取締役・有限会社リバーワークス代表取締役、広脇淳／神戸市北区役所山田出張所所長（元神戸市建設局公園担当局長）  
「均質から分化へ：令和のニュータウンを考える」  
青木嵩／大阪大学 大学院工学研究科助教

#### プロジェクトトーキング

阪急三宮駅周辺地区を対象に「ヒューマンスケール」をテーマとして各分野3名の対談を実施した。

岸本しおり／有限会社ハートビートプラン、栗山尚子／神戸大学大学院工学研究科建築学専攻准教授、村上しほり／大阪公立大学大学院生活科学研究科 特任准教授

## 2. 本部学会誌「都市計画」に関する企画編集

本部学会誌「都市計画」においては、関西支部の活動報告、都市計画情報の掲載ページ（支部 Topics）に関する企画編集と執筆依頼を行った。

362号「多様な連携が創出するサードプレイス—2022年度関西まちづくり賞」

： 澤田雅浩／関西支部関西まちづくり賞委員会委員長・兵庫県立大学

363号「京都市 都市計画見直し実施—インセンティブ活用による都市機能の集積を目指して」

： 京都市 都市計画局都市企画部都市計画課

364号「都心における回遊性向上の拠点として—東遊園地の再整備」

： 小畑博史／神戸市建設局公園部管理課係長

365号「計画から生まれる偶然の連鎖—尼崎市杭瀬地域からの報告」

： 若狭健作／株式会社地域環境計画研究所

366号「海と街の交流拠点を目指して—『SHIOGORI PROJECT（シオゴリプロジェクト）』」

： 尾崎弘和／南紀みらい株式会社

367号「都市空間のイノベーション—なんば広場改造計画（なんば駅周辺における空間再編推進事業）」

： 福井良佑／南海電気鉄道株式会社、泉英明／有限会社ハートビートプラン

## 6) 都市計画研究会活動支援について

### 1. 支援を行った都市計画研究会の活動状況等報告会の実施

2023年度総会に併せて、研究支援結果発表会（最終報告3件、中間報告1件）を、対面とオンラインを併用するハイブリッド形式で開催した。また関西支部ウェブサイトにて、2022年度研究助成（最終報告3件、中間報告1件）の報告を行った。

## 2. 都市計画研究会への活動支援の実施

下記の4件の都市計画研究会に対して助成を行った。

継続(1)：地域資源保存活用研究会（代表者 中村 昇）

新規(1)：人口減少時代における計画的住宅地と農山漁村の新たな連携研究会  
（代表者 青木 嵩）

新規(2)：エリアビジョン検討のためのまちづくりゲーム「紡ぐ・ビジョン・MATCH  
-まちの未来をソウゾウする-」の展開を考える研究会（代表者 石原 凌河）

新規(3)：室生の「生き抜いた景観」の再発見・活用研究会（代表者 高木 悠里）

## 7) 国際・交流活動について

### 1. 委員会の開催記録

2023年4月24日（月）、7月10日（月）、10月5日（木）、10月24日（火）、  
11月16日（木）

2023年度の活動内容を検討し、留学生、都市計画・まちづくりを仕事とする社会人、都市計画・まちづくり分野への就職を考える学生に対して、対面による学生向け交流イベント1件と国際都市計画セミナー1件を開催することを決定するとともに、コロナ禍などの事情を鑑みて休止していた海外都市計画交流会を再開・実施することを決定した。

### 2. 活動内容

(1) 海外都市計画交流会：

「クライストチャーチの都市再生」

日 時：2023年9月2日（土）～9月6日（水）

視察先：クライストチャーチ（ニュージーランド・南島）

参加者：9名（一般5名，委員会関係者4名）

内 容：ニュージーランドは、太平洋の南西に位置する南北に細長い島国で、人口は約500万人超と少なく、自然豊かな国である一方で、一人当たり名目GDPは日本よりも高い。近年は、環境保全、ジェンダー平等、人種の公平性、高い幸福度などの先進性から、世界的にも注目を集めている国の一つである。また、日本と同じ地震国であるニュージーランドでは、2011年2月に南島最大の都市クライストチャーチを中心に、マグニチュード6.1のカンタベリー地震が発生し、甚大な被害が発生した。その復興過程では、数々の都市再生の取り組みが進められてお

り、わが国の震災復興や各地で進むウォークアブルなまちづくり等の観点からも大変参考になる。そこで、9月2日から6日まで、海外都市計画交流会「クライストチャーチの都市再生」を開催し、ヒアリング調査を通じて、現地のNPOや市役所担当部局の関係者と交流を深めた。

(2) 国際都市計画セミナー：

「海外都市計画交流会「クライストチャーチの都市再生」実施報告」

日 時：2023年12月14日(木)18：30～20：00

場 所：(株)竹中工務店大阪本店御堂ビル1Fいちょうホール

参加者：25名(報告者4名、委員会関係者3名含む)

内 容：9月に開催した海外都市計画交流会「クライストチャーチの都市再生」では、現地のNPOや市役所担当部局の関係者と交流を深めるとともに、貴重かつ有益な情報を数多く得てきた。そこで、これらの情報を関西支部所属の学会員や一般の方々に広く知って頂くため、海外都市計画交流会の実施報告会を開催し、交流会の実施概要、ならびに、参加した3名の委員より、「震災を契機としたGap Fillerによるクリエイティブ・プレイスメイキングの挑戦と軌跡」、「ニュージーランド・カンタベリー地震後の復興の都市デザイン」、「ニュージーランド・カンタベリー地震におけるレッドゾーンの指定と再生戦略」と題した報告をそれぞれ頂いた。そして、クライストチャーチの都市再生から学ぶわが国への示唆について、参加者も交えた質疑応答と活発な意見交換を実施した。

(3) 学生向け交流イベント：

「茨木市文化・子育て複合施設 おにクル見学会」

日 時：2024年1月25日(木)15：00～17：30

会 場：茨木市文化・子育て複合施設 おにクル

参加者：35名(学生・一般29名、委員会関係者6名含む)

内 容：世界的建築家の伊東豊雄氏が手がけ、「育てる広場」をコンセプトに、図書館やホール、こども支援センター、市民活動センターなどが一緒になった茨木市の文化・子育て複合施設として2023年11月にオープンした「おにクル」は、新たなまちのシンボルとして、建築面でも特徴的な施設となっている他、これからの茨木市のまちづくりの中心となることを目指し、市民参加型の取り組みもすでに多数展開されている。そこで、「おにクル」の検討・整備に関与された茨木市のご担当者にご案内を賜りつつ、都市づくりに係るハード・ソフトの工夫や挑戦が詰め込まれた最新施設を現場見学しながら、学生交流を図った。

## 8) 関西まちづくり賞について

### 1. 委員会等の開催記録

- ・ 第1回委員会(2023年5月8日) 2023年度募集要領の検討等  
募集期間(2023年6月5日～9月22日)
- ・ 第2回委員会(2023年10月3日) 選考方法の検討、現地調査・質問事項の検討
- ・ 現地調査(2023年11月20日) 応募案件の現地調査(1件)
- ・ 現地調査(2023年11月21日) 応募案件の現地調査(1件)
- ・ 現地調査(2023年12月1日) 応募案件の現地調査(1件)
- ・ 現地調査(2023年12月8日) 応募案件の現地調査(1件)
- ・ 第3回委員会(2024年1月11日) 現地調査の総括、受賞対象者の選考
- ・ 第4回委員会(2024年3月21日) 表彰式、プレゼンテーションの段取り

### 2. 2023年度関西まちづくり賞 表彰

#### ・ 関西まちづくり賞

成果・実績の名称：『地域のひろばをつなぐ Common Loop』 受賞者：石切のわ、近畿大学建築学部都市計画研究室、一般社団法人 baamu lab.

#### ・ 関西まちづくり賞奨励賞

成果・実績の名称：『住民の想いを共有した防災まちづくり計画の策定と、防災意識と住民間連携を円滑にする防災ネットワークづくり』 受賞者：今熊野学区自主防災会

成果・実績の名称：『地域社会との協働を通じたまちづくり学習の展開-高野町立高野山中学校「ふるさと学習」における4年間の取り組み-』 受賞者：高野町立高野山中学校、浦井亮太郎

## 9) 研究発表会の開催について

2023年7月29日(土)、オンラインにて、第20回研究発表会を開催した。大学・行政・企業の若手研究者を中心とした39編の研究発表があり、99名の参加者を得て活発な質疑・討論が行われた。

発表会で選定している奨励賞には、以下の7名の方が選ばれた。

#### (1) 杉原るるさん (株式会社オオバ)

「知識創造の視点から捉えた大阪ビジネスパークの屋外空間が持つワークプレイスとしての可能性」

#### (2) 和田龍之介さん (大阪大学大学院工学研究科)

「伝統的地場産業に関わる地域資源の関連文化財群としての保存・活用」

#### (3) 西川杏紗菜さん (立命館大学大学院理工学研究科)

「都市機能誘導区域への誘導施設の立地に関する研究-関西圏の自治体を対象として-」

#### (4) 杉山和則さん (株式会社社会安全研究所)

「南海トラフ地震による津波想定地域における商業店舗代表者の移転意向に関する研究－和歌山県海南市・田辺市・串本町を事例として－」

(5) 水野謙吾さん（東京大学大学院工学系研究科）

「駅前広場における交流機能を支える空間特性の解明」

(6) 太田美咲さん（大阪公立大学大学院現代システム科学研究科）

「豊能町高山地区における棚田景観特性の解明」

(7) 関根仁美さん（大阪大学大学院工学研究科）

「大阪市都心部におけるまちづくりビジネスの展開」

#### 10) 新 Web サイト等の活用による情報発信について

支部活動の情報発信の魅力化とホームページ運営の効率化、運営コストの適正化を図るために、2022 年度に全面見直しを行った web サイトと新たに構築したメール配信システムを活用し、会員への適時・的確な情報発信に努めた。

**【報告事項 1】**

**2023 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部決算について**

**(後日掲載)**

## 【第2号議案資料】

### 2024年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動方針（案）

#### 1) 主な事業の日程概要

##### 2024年度活動予定表

4～6月	○関西支部総会（4月13日） ○研究支援の募集・締切（総） ○研究発表の募集・締切（研）	○都市計画フィールドワーク (第1回)（企）
7～9月	○研究発表会の開催（研） ○海外都市計画交流会（国） ○関西まちづくり賞募集・締切（ま）	○都市計画講演会（企）
10～12月	○学生のための仕事場訪問（国） ○国際都市計画セミナー（国） ○関西まちづくり賞現地調査（ま）	○都市計画フィールドワーク (第2回)（企） ○都市計画ワークショップ（企） ○支部だよりの発行（編）
1～3月	○関西まちづくり賞選考（ま） ○支部だよりの発行（編）	○都市計画シンポジウム（企）

委員会名称：（総）総務委員会、（企）企画委員会、（編）編集・広報委員会、  
（ま）関西まちづくり賞委員会、（研）研究発表委員会、（国）国際・交流委員会

#### 2) 新たな計画課題にむけて多世代・多分野の協働と人材育成につながる支部活動について

支部活動は、会員、賛助会員へのサービスのみならず、多様な地域課題に対して専門的な貢献を果たすために、さらなる活動の活性化、次世代の裾野の拡大を図る必要がある。そのため、以下の実現に努める。

- (1) 関西支部のこれまでの蓄積と成果を踏まえ、出身とする専門分野や関西における主な活動の場の相違、あるいは産官学といった垣根を越えた業際・学際的な人的ネットワークの充実および研究・実践における協働を図る。特に、これからの関西の都市計画分野を支える人材の発掘と育成支援を積極的に行う。
- (2) 支部活動の広報・連絡活動のインフラとしてのビジュアルを強化した新 Web システムのより効果的な運用を通じて、会員はもとより全国に向け関西における都市計画・まちづくりの取り組みを積極的に発信していく。
- (3) 都市計画分野の継続教育（CPD 活動）に資するプログラム（都市計画講演会及びシンポジウム、都市計画フィールドワーク、研究発表会等）をさらに充実して実施する。
- (4) 支部活動の基本である各委員会の運営に関し、若手・中堅層を中心に広く会員の参加を得て活性化を図る。そのために委員公募を積極的に検討する。



- (5) 支部会員数の減少傾向に鑑み、オンラインの活用等も含め関西広く社会ニーズに対応した行事の企画・運営や会員サービスを充実し、学生ならびに自治体・コンサルタント等の都市計画・まちづくり担当者の当学会への関心を高めて、会員増強につなげる。
- (6) 関連する学協会・業界団体等との関係を深め、イベントの共催・後援などを通じて多様な人材の交流と学習の場を提供する。それらの活動から実践と学術的知見をつなぎ、都市まちづくり分野での産官学のプラットフォームを形成する。

### 3) 都市計画講演会及びシンポジウム・都市計画フィールドワーク等の開催

人口減少下での持続可能な都市・地域づくりが求められるなか、都市・地域計画に求められる課題や役割が変化している。社会経済の変動を背景に計画分野の新たな動向をとらえ、多様な分野の人が集まり多角的に考える機会を提供する都市計画講演会・シンポジウムならびにフィールドワークを企画・開催する。

これまでも先進的に独自の発想にもとづき展開してきた関西の都市づくりについて知見を深め、地域の環境形成に寄与する情報交流の場となるよう、計画技術の継承発展にとどまらず、計画に関わるテーマについて社会的・経済的・文化的観点から広く取り上げていく。

都市づくりの担い手と出会う、現場で意見交換するなど、参加することの魅力を高める工夫と、会員の関心を広げていくことをめざすとともに、昨年度に引き続き、今年度も学生等幅広い方々の参加を求め、学会への関心を高めるようなフィールドワークやワークショップを開催する。

### 4) 広報について

「日本都市計画学会関西支部だより」の WEB 発行を通じて、関西を中心とする都市計画・まちづくりに関する論説、話題、事業の紹介等を行う。2023 年度の活動を引き継ぎ、編集・広報委員による取材企画や会員による論考の発表企画、各支部の活動紹介などを進め、広報活動のさらなる充実を図る。

また、本部学会誌「都市計画」に毎号掲載される支部トピックスの企画編集を行い、関西のまちづくりや都市計画に関する情報を全国に発信する。

### 5) 都市計画研究会活動支援について

2023 年度から継続する 3 件の都市計画研究会への活動支援に加えて、「都市計画研究会活動支援に関する要綱」に従い、新規 1 件の支援を行う。

参考：【資料 5】

## 6) 国際・交流活動の推進

都市計画に関心を持つ学生と社会人とが交流し情報交換を持つ場として「都市計画・アーバンデザインの仕事をたずねる」あるいは「関西のプロジェクト見学会」を実施する。また、近年、海外の都市計画の実務経験を有する人が増えており、その方々の経験を共有する場として、まちづくり・都市計画実務者向けの「国際都市計画セミナー」を開催する。さらに、新型コロナの影響で停滞していた国際交流の再活性化を図るため、海外諸都市にて現地開催する「海外都市計画交流会」についても、具体的に検討・実施することを目指す。

以上により、都市計画専門家、学生及び留学生、社会人等との人的ネットワーク形成を推進し、新規会員の獲得へつなげる。

## 7) 関西まちづくり賞について

関西で実施された地域まちづくり活動や空間整備又は制度づくりや計画策定で、優れた成果・実績・効果があるものについて、広く募集・推薦を求め、関西まちづくり賞の表彰を行う。

そのため、関西まちづくり賞の趣旨をわかりやすく発信し、できるだけ多くの応募・推薦を集める努力を行う。

賞の選考に当たっては、応募者ヒアリングや現地調査を実施し、十分に議論する等、公正な審査を行う。選考された地域まちづくり活動等は、関西における優れた成果・実績・効果であるとして表彰するとともに、その内容や評価したポイント等を情報発信する。

参考【資料6】

## 8) 研究発表会について

2024年度第22回関西支部研究発表会を、7月27日（土）大阪公立大学文化交流センター（大阪駅前第2ビル6階）にて開催する。投稿および発表会への参加については、大学等の教育研究機関関係者だけではなく、広く、行政関係者・民間企業・コンサルタント関係者等、都市計画の第一線で活躍されている方々の参加を歓迎する。

なお、今年度の投稿申込締切は、5月22日（水）、原稿提出締切は6月19日（水）としている。応募方法や原稿執筆要領等の詳細は、支部ホームページに掲載している。

参考：【資料7】

【報告事項2】

2024年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部予算について  
令和6年度日本都市計画学会関西支部 収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

大科目	中科目	令和6年度 予算額(a)	令和5年度 予算額(b)	差異(a)-(b)	備考
<b>I. 事業活動収支の部</b>					
1. 事業活動収入					
① 事業収入		180,000	170,000	10,000	
	講習会収入	20,000	20,000	0	
	発表会参加費収入	160,000	150,000	10,000	
② 寄付金収入	寄付金収入	0	0	0	
③ 雑収入	雑収入	0	0	0	
	事業活動収入計	180,000	170,000	10,000	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		1,994,000	2,089,000	△ 95,000	
	臨時雇賃金支出	120,000	120,000	0	
	会議費支出	0	0	0	
	旅費交通費支出	234,000	264,000	△ 30,000	
	通信運搬費支出	56,000	40,000	16,000	
	消耗品費支出	12,000	11,000	1,000	
	印刷製本費支出	8,000	10,000	△ 2,000	
	コンピュータ費支出	80,000	106,000	△ 26,000	
	賃借料支出	101,500	159,000	△ 57,500	
	保険料	14,000	20,000	△ 6,000	
	諸謝金支出	356,750	300,000	56,750	
	助成金支出	380,000	400,000	△ 20,000	
	委託費支出	589,750	623,000	△ 33,250	
	表彰費支出	42,000	36,000	6,000	
	雑費支出	0	0	0	
② 管理費支出		55,000	55,000	0	
	旅費交通費支出	5,000	5,000	0	
	通信運搬費支出	5,000	5,000	0	
	消耗品費支出	5,000	5,000	0	
	印刷製本費支出	10,000	10,000	0	
	賃借料支出	30,000	30,000	0	
	事業活動支出計	2,049,000	2,144,000	△ 95,000	
	事業活動収支差額	△ 1,869,000	△ 1,974,000	105,000	
3. 特定費用準備支出					
	支部40周年記念事業	100,000	100,000	0	
	総支出計	2,149,000	2,244,000	△ 95,000	
	総収支差額	△ 1,969,000	△ 2,074,000	105,000	

【第3号議案資料】

2024年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員選出について

役職	担当	所属
支部長	嘉名 光市	大阪公立大学
副支部長	岡井 有佳	立命館大学
〃	中塚 一	(株)地域計画建築研究所
〃	田中 利光	阪神国際港湾(株)
総務委員長	三崎 信顕	大阪府都市整備推進センター
〃 副委員長 (総務担当)	紅谷 昇平	兵庫県立大学
〃 副委員長 (会計担当)	鷺尾 真弓	神戸市
関西まちづくり賞委員長	中野 茂夫	大阪公立大学
〃 副委員長	阿部 俊彦	立命館大学
〃 副委員長	臼田 利之	大阪市
企画委員長	笹井 浩	総合調査設計(株)
〃 副委員長	熊谷 樹一郎	摂南大学
〃 副委員長	森 喜彦	兵庫県
国際・交流委員長	大庭 哲治	京都大学
〃 副委員長	栗山 尚子	神戸大学
編集・広報委員長	阿部 大輔	龍谷大学
〃 副委員長	杉浦 啓太	茨木市
研究発表委員長	山口 行一	大阪工業大
〃 副委員長	清水 裕子	畿央大学
〃 副委員長	徳勢 貴彦	(株)スペースビジョン研究所